

今年度の抱負 HO-FU

仕事が見つかるように
車がほしい

熊五郎

海へドライブにいけるように！

トシ

ほうふ！？

パチンコ店に行かないように！
(何日もつだらうか・・・？
出る頃には行ってたりして)

by バーコード野郎

リーベルに毎日来てリラッ
クスして健康につなげたい
と思います。

中尊寺 乱京

病気を治したい
病気と戦う
病気と向き合う
病気から逃げない

今村亮太



八女地区地域自立支援協議会

2月23日(月)、第4回目が開催されました。今回は、福岡県自立支援協議会より門田光司会長、福岡県障害者福祉課自立支援係・原野係長・西村氏に来賓として出席していただきました。八女地区の相談支援事業の状況報告等を行う中、本協議会委員の皆さんと共に熱心に耳を傾けていただき、感謝致します。今後もこちらから地域へ出かけることにより一人でも多くの人に相談支援事業を知ってもらい、ニーズの掘り起こしに努めていきたいと思ひます。

手帳のカバーがブルーに！？

**4月1日以降に交付される障害者手帳
(身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者
保健福祉手帳)のカバーの色は、すべて
「ブルー」となります。**

**また、従来の「ブルー」以外のカバーに
ついては、そのまま使うことができます。**

**提示しやすい手帳への工夫と、障害を種
別で区分しない意識の向上を進めるため、
身体・知的・精神の3障害の手帳の様式、
サイズ等の統一を図り、携行しやすく、フ
ライバシー等に配慮されたものです。**

**カバーの交換をされたい方は、お気軽に
各市町村の窓口へお越し下さい。**

リーベル2周年記念行事

皆様のご協力により開設2周年を迎えることが
できました。これを記念しましてシンポジウムを開催
致します。皆さんふるってご参加下さい。

テーマ:「共に生き、共に支えあう地域を目指して」
～相談支援に求められるもの～

内 容:寸劇・シンポジウム

日 時:平成21年5月16日(土)

受付 13:00

開式 13:30



会 場:八女文化会館

八女市本町 0943-23-6180

編集後記

利用者みなさん、関係機関みなさん、原稿依頼を快く引き受けて頂きありがとうございます。改めて「多くの方に見守ってもらっているなあ☆」と実感しています。新年度っ！気持ちを一新して、さらによりよい八女地区づくりに取り組んでいきたいと思ひますので皆様今年度もよろしくお願ひいたします。

第11号 八女地区障害者等相談支援センター「リーベル」

平成21年4月30日

リーベル通信



発行責任者:八女地区障害者等相談支援センター「リーベル」

住所:八女市本村 425-9

電話:身体しょうがい・知的しょうがい・しょうがい児 0943-22-2610

精神しょうがい 0943-22-2630



新年度のごあいさつ



～共に生き、共に支えあう地域を目指して～

「共に生き、共に支えあう地域を目指して」これは、この度策定いたしました

第2期八女市障 害 者 基本計画の基本理念であります。

この基本計画は、平成21年度から平成30年度までの10年間の八女市のしょうがい者施策を推進する指針となるものです。

我が国のしょうがい者に対する政策は、しょうがい者を社会的弱者としてのみ捉え、保護すべき対象と考えるような傾向がありました。しかし、「完全参加と平等」をテーマとした国際障害者年、続く「国連・障害者の10年」などを契機として、ノーマライゼーションや自立の理念が浸透し、しょうがいのある人も、そうでない人と同じように地域社会を構成する重要な一員とする考えが広まっています。

このような状況の中、本市においても、「八女市障害者基本計画(第1期)」を策定し、しょうがい者に対する総合的な取り組みを推進してきました。

しかし、その後国の障害者基本計画の見直しや介護保険制度・支援費制度の導入、障害者自立支援法や発達障害者支援法の成立など、しょうがい者を取り巻く環境は大きく変化して参りました。

以上のような状況を踏まえ、まず、しょうがい者の方々に対するアンケート調査をはじめ、当事者団体、施設、関係機関に対するアンケートを行い、幅広く意見・要望等を把握し、計画への反映に努めました。その後、学識経験者、しょうがいのある人に関連する団体、施設、保健医療関係者等の参加を得た「八女市障害者基本計画策定委員会」の中で、熱心に審議が行われ、その原案を策定していただきました。

今後は、この新しい基本計画に基づき、「共に生き、共に支えあう地域を目指して」という基本理念に基づきまして、障害者福祉の諸施策の実現に向け、八女地区障害者等相談支援センター「リーベル」と連携し、取り組んで参りたいと考えております。また、計画の推進には、市民の皆様や事業者の皆様と一体となった取り組みが、ぜひとも必要だと思っておりますので、皆様方のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

やめしふくしかちょう
八女市福祉課長

やま さき きよし
山 崎 潔



やめファミリーサポートセンター

「子育ての中の“困った”をお手伝いします!」

ファミリーサポートセンターは4月より支援活動をスタートしました。

子育ての援助を受けたい人(おねがい会員)と、子育てのお手伝いができる人(まかせて会員)が会員登録をし、地域の中で安心して子供を生み育てていくことができる地域社会をみなさんと創っていく・・・子育ての手助けをし合う会員組織です。

こんなときに利用できます!

“仕事で保育所(学童)のお迎えが間に合わない・・・” “学校行事があるけど、下の子連れては・・・”

“冠婚葬祭の時に・・・” “リフレッシュしたいけど・・・” などなど・・・

地域のやさしい大人たちにふれあい、育っていく子どもたち・・・どんなにすてきに育っていくでしょう。皆さんでそのお手伝いをし合えたら、地域が笑顔あふれる顔見知りの関係で溢れるでしょう。子育ての輪を一緒に広げていきませんか。

現在 おねがい会員:38名、まかせて会員:43名が登録、活動しています。



アドバイザー
徳永さん

登録、講習会等の	0943-23-1546
お問い合わせ	090-7989-7114 yame-famisapo@docomo.ne.jp

勉強してきたばい!

去る3月18日(木)、広川町社会福祉協議会の場をお借りしてホームヘルパーの皆さん、デイサービス職員の皆さん向けに「リーベル」についてお話しさせて頂く機会がありました。「リーベルを初めて知りました・・・」という声から、話題は「認知症とうつ」「家族への対応の仕方について」など高齢者福祉に携わっておられる、生の意見を拝聴する機会ともなり、1時間という時間もあっという間に過ぎた充実した学習会となりました。

広川町社協の皆さんおつかれ様でした。



家族会



4月22日(水)、第28回ハ女東部精神障害者家族会連合会総会と午後からの研修に参加させて頂きました。家族会では、向会長をはじめとし地域の行事から県外で開催される全国的な大会など積極的に活動されており、平成20年10月に和歌山県で開催された全国精神保健大会では、長年に渡る地域活動が評価され表彰をされるという功績を残しておられます。午後からの研修では、社会福祉法人ハイジ福祉会後援会「あすなる会」会長の中村富治先生より「心のバリアフリー」というテーマでの講演がありました。知識を身につける、打ち明けて相談できる仲間をつくることが必要であり、そこで家族会が大きな役割を果たすということが分かりました。さらに過疎地域の家族会の現状を、行政や医療機関などの関係機関が理解し地域で支える体制を構築していく必要があると痛感しました。

平成21年度

市町村福祉の窓口紹介

今年度のしょうがい者福祉の担当は、笑顔の素敵な以下のみなさんです。

よ〜く顔をおぼえて窓口へGO→



ハ女市!

上段左から、片山(身体担当)・山下(精神担当)・原野(知的担当)・山口係長
下段、山崎課長



立花町!

上段左から、牛島、樋口、江崎
下段左から、中島係長、原課長、中島



黒木町!

上段左から、小柳・草場・似吹・藤田
下段左から、石崎(身体・知的担当)
鍋田係長・大塚(精神担当)



広川町!

上段左から、馬場係長・野中
中段左から、中島・丸山・氷室・中島
下段左から、樋口・山下課長・中村



矢部村!

上段左から、木田係長・栗原課長・川島
下段左から、小野保健師・横溝



星野村!

上段左より、山口係長・東・江頭
下段左より、井手・山口課長・江良
(しょうがい担当は山口係長・江良)